

科目番号	20	科目名	デザイン史概説A		
英文科目名					
大学・短期大学名	成安造形		大学		
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1				
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120	
担当教員	平井 直子 / 櫻間 裕子		(芸術 学部 非常勤講師)		
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名	未定	会場			
授業期間	2026年4月16日(木) ~ 2026年7月23日(木) <毎週木曜日> 1 時限・講時 9:00 ~ 10:40				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)	30	%		
	レポート試験(期末)	70	%		
	平常点(出席・授業態度)	0	%		
	その他()		%		
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	18世紀から19世紀にかけてのヨーロッパの歴史について、概観しておくこと。[約200分]				
<講義概要・到達目標>					
<p>【講義概要】18世紀から19世紀にかけての産業革命は、人びとの生活を激変させた。特に、生活に用いる、様々な道具やモノ、或いは環境を形成するものづくりの現場は、大きな影響を受けた。それ以前には職人の手で一つひとつが手工作で制作されていたものが、機械によって一度に大量に生産されるようになったのである。この講義では、ものづくりの現場への機械の導入をめぐる、様々な工芸家やデザイナーの苦闘の跡を探っていく。そのことを通して、近代デザインの考え方の基礎の成立について知ることを目的とする。</p> <p>【この授業は、全て、対面で実施します。】【到達目標】歴史という概念の相対性について考えることができるデザインと社会の関係について考えることができる機械によるモノ作りとしてのデザインについて考えることができる</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月16日	歴史とはなにか、デザインとはなにか【4月16日】			
2	4月23日	デザイン史と美術史【4月23日】			
3	5月7日	産業革命とものづくり【5月7日】			
4	5月14日	イギリス社会の階層性【5月14日】			
5	5月21日	アルバート公とヘンリー・コールのデザイン改革【5月21日】			
6	5月28日	1851年の万国博覧会【5月28日】			
7	6月4日	ウィリアム・モリスの活動の概要【6月4日】			
8	6月11日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 1回目【6月11日】			
9	6月18日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 2回目【6月18日】			
10	6月25日	美術工芸運動【6月25日】			
11	7月2日	アール・ヌーヴォーの概要とデザイン史上の意味【7月2日】			
12	7月9日	フランスとベルギーのアール・ヌーヴォー【7月9日】			
13	7月16日	スコットランド、カタロニア、オーストリア、イタリアのアール・ヌーヴォー【7月16日】			
14	7月23日	【7月23日】授業内テスト			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
授業の進行に応じて指示します。					